

特別決議案 提案理由説明

全国町村会副会長・会長代行 北海道白糠町長
棚野 孝夫

私からは、「少子化対策の強化と地方創生の推進に関する特別決議」(案)について、提案理由をご説明いたします。

我が国全体として人口が減少する時代を迎え、町村においては少子高齢化が進み、重要な産業である農林水産業の担い手が不足するなど多くの課題を抱えており、総じて厳しい財政運営を余儀なくされています。

このような困難な中であっても、我々町村は、地域の特性を最大限に活かしながら、住民とともに地域づくりを進めてきました。

しかしながら、これまでの地方創生による国の支援では、人口減少や東京圏への一極集中などの大きな流れを変えるには至っていません。

この現状を打破するためには、国全体として、人口減少問題と東京一極集中に真正面から立ち向かい、これまでの地方創生による取組の成果と反省を活かした「新たな地方創生」により、都市と農山漁村が共(とも)に創(つく)る、持続可能で活力ある地域社会の構築に

取り組むことが重要です。

よって、国は、少子化対策を更に推進するとともに、新たな地方創生による大胆な政策を実施し、分散型の国づくりを強力に推進するべきであります。

こうした観点から、全国926町村の総意として、決議案に掲げた各項目について、国に対して格段の対応を求めるものであります。

以上につきまして、町村長各位の満場のご賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明を終わります。